



華麗なる英国のライフスタイル

UTY 製局40周年記念・40th Anniversary / ダイヤナ元妃ゆかりのリング

愛のヴィクトリアン[★] ジュエリー展

2010年4月10日[土]
— 6月6日[日]

開催時間/午前10時～午後5時(入場は午後3時まで)

休 日/4月20日(月)・28日(月)

特別休館日/5月10日(月)・27日(月)・28日(月)・31日(日)

※休館日中に「ワークショップ」を開催します。

観 覧 料/一般1,000円(税込) 小学生300円(税込) 中学生200円(税込)

1) 9歳以下の子供は無料(小学生以下は別途料金)

中学生～高校生は別途料金(小学生以下は別途料金)

中学生以上の子供は別途料金(小学生以下は別途料金)

中学生以上の子供は別途料金(小学生以下は別途料金)

中学生以上の子供は別途料金(小学生以下は別途料金)

主催/山梨県立美術館、7月7日展「愛のヴィクトリアンジュエリー展」実行委員会

特別協賛/山梨県アンティーク・ジュエリー美術館

企画協賛/アート・ファッション・レイ、東京造形大学芸術学部

協賛/アパレル・デザイン・ラボ、山梨県人形博物館、山梨県立美術館、山梨県立図書館

日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、山梨県報、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞

山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞

山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞

山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞

山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞

山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞、山梨県民新聞

山梨県立美術館
Yamanashi Prefectural Museum of Art

A Celebration of Victorian Love, Leisure and



1842年、イギリスの女王ヴィクトリアの肖像画。19世紀後半のファッションの象徴。



1840年代後半のイギリスのファッション。金と青い宝石の鳥のブローチ。

19世紀イギリス、大英帝国はかつてない霸業を遂げます。産業革命によって生み出された強大な国力によって、イギリスはアフリカ大陸やインド、アジア各国にまで勢力を広げました。この「太陽の沈まぬ帝国」とよばれたイギリスを導いたのが**ヴィクトリア女王**(1819-1901)です。この時代、イギリスには前編の資本家階級が誕生し、その豊かな富を誇りに華やかな宝飾文化が花開きました。

ヴィクトリア女王はヨーロッパの女性たちが憧れる**ファッションリーダー**であり、とりわけジュエリーの世界に注目すべき展開をもたらしました。また愛する夫と4人の子供に囲まれた女王は、ウェディングやアフタヌーンティーといった女性の**ライフスタイル**にかかわるさまざまな習慣を完成させました。こうした振舞いで華やかなイギリスの伝統と文化は、今なお私たちを魅了してやみません。

本誌では、ヴィクトリア時代の豪華なジュエリーの数々と英国王室にまつわる宝飾品をご紹介します。あわせて当時のウェディングの装いや、アフタヌーンティーの豪華な器やテーブルセッティング、さらに細かな子仕事による優美なアンティークレースなど前編の点によって華やかな英国伝統文化の特色をご紹介します。

1 アンティーク・ジュエリー



1840年代後半のイギリスのファッション。ダイヤモンドのティアラ。

ヴィクトリアン・ジュエリーの魅力のひとつに技巧を凝らした金細工が挙げられます。この時代、世界中に数にわたる植民地から金をはじめダイヤモンドや象牙など、多種多様な素材や技法がイギリスに持ち込まれました。また、聖手のメッセージや愛情を込めたセンチメンタルジュエリーも見どころのひとつです。



1840年代後半のイギリスのファッション。金と青い宝石のネックレス。



1840年代後半のイギリスのファッション。ダイヤモンドのブローチ。



1840年代後半のイギリスのファッション。金と青い宝石のブローチ。



1840年代後半のイギリスのファッション。金と赤い宝石のブローチ。



1840年代後半のイギリスのファッション。金と赤い宝石のネックレス。

Jewellery, and Ceremony

英国王室にまつわる宝飾品



George III (1739-1801)
King George III's Daughters (1782-1801)

「特別出品」 ダイアナ元妃ゆかりのリング



ダイアナ元妃の結婚指輪の複製
2.00カラット
1800年 7500円



ダイアナ元妃と
チャールズ王子の結婚指輪

ダイアナ元妃は結婚指輪に記念してフランスの宝石商から贈られたリング。
結婚指輪にちなみダイアナ元妃がチャールズ王子と結婚したものです。



ロイヤル・コートのデザイン
1702年、1707年、1707年、1707年、1707年
1702年、1707年、1707年、1707年、1707年



Queen Victoria's Wedding Dress (1840)

2 秋びのウェディングから哀しみのモーニング

アルバート公との結婚式で、女王は金糸や銀糸で飾られた豪華なドレスではなく、ひとりの「花嫁」にふさわしい、淡いターム色のドレスにレースをあしらった清楚なスタイルを選びました。純白のドレスや豪華な交装といった今に伝わるウェディングの習慣の多くは、ヴィクトリア女王によって誕生したものです。また結婚でなくなった夫を悼び、女王は29年もの間、喪に服したといわれています。ヨーロッパでは亡き人への思いを込めたモーニング・ジュエリーは特に大切にされています。真実な哀しみであったヴィクトリア女王の喪を愛情を感じることができる鑑です。

女王からの贈り物 英国伝統のライフスタイル



Queen Victoria's Wedding Ring (1840)



Queen Victoria's Wedding Reception (1840)

3 優雅なひととき —アフタヌーンティー—

17世紀にはじまった喫茶の習慣は貴族社会のステータス・シンボルとなります。ヴィクトリア女王の時代には紅茶文化が広がる発展を選び、今日のアフタヌーンティーの様式が確立されました。美しい調度品に囲まれた空間、優雅なテーブルセッティングと繊細な儀礼をお楽しみください。



Queen Victoria's Tea Set (1840)